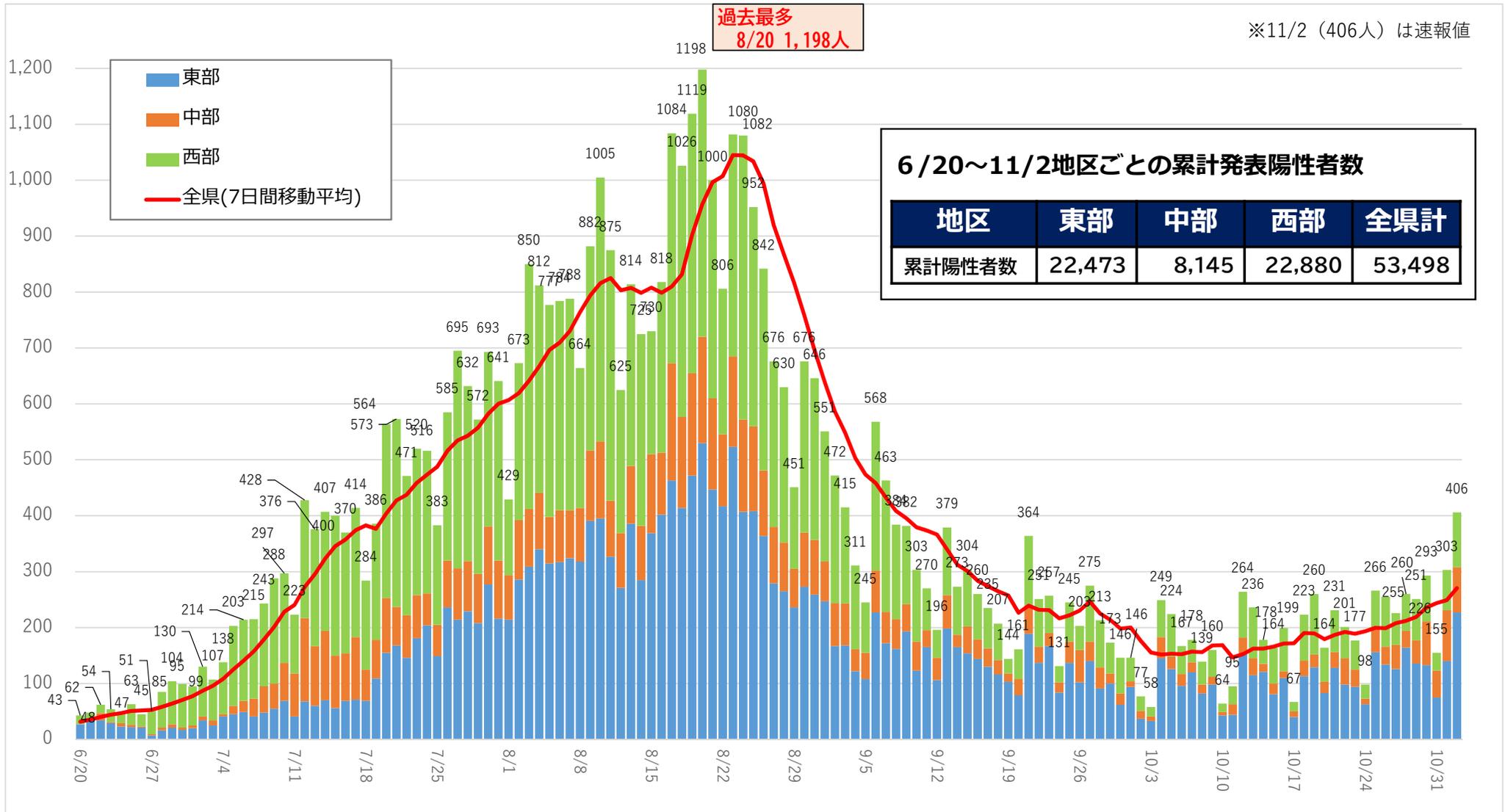


鳥取県・鳥取市 新型コロナウイルス感染症対策緊急会議

- 日時：令和4年11月2日（水）午前11時から
- 場所：鳥取県庁災害対策本部室（第2庁舎3階）
- 出席：知事、副知事、統轄監
新型コロナウイルス感染症対策本部事務局、危機管理局
（テレビ会議参加）
東部地域振興事務所、中部総合事務所、西部総合事務所、日野振興センター
鳥取市長
- 議題：
 - （1）県内の感染状況について
 - （2）その他

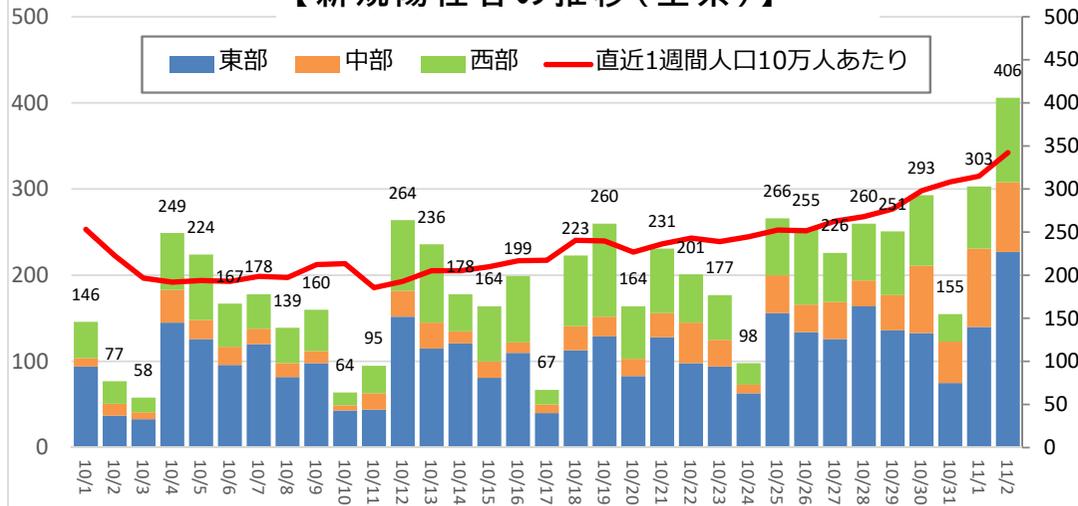
鳥取県の新規陽性者の推移



鳥取県の最近の感染状況

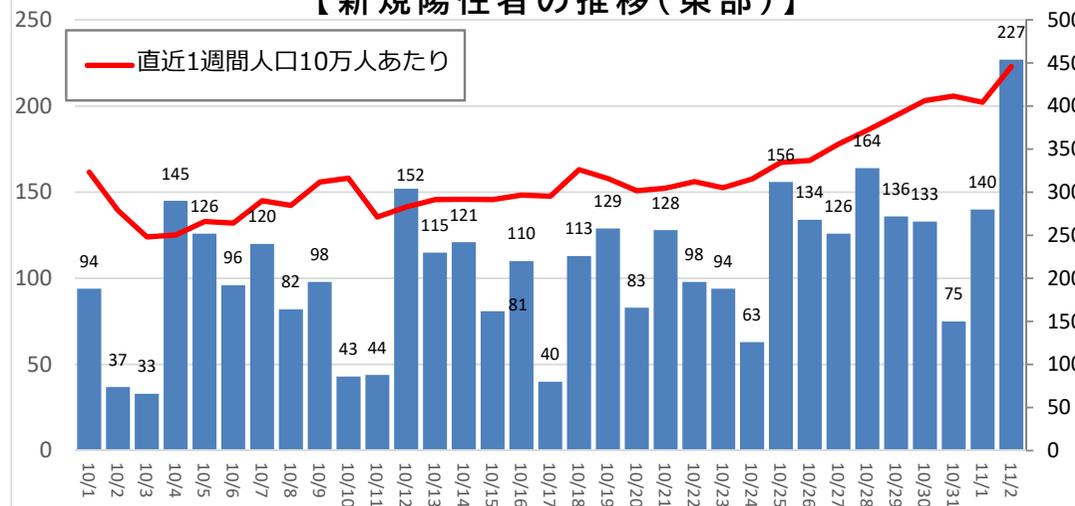
【新規陽性者の推移(全県)】

10万人あたり(人)



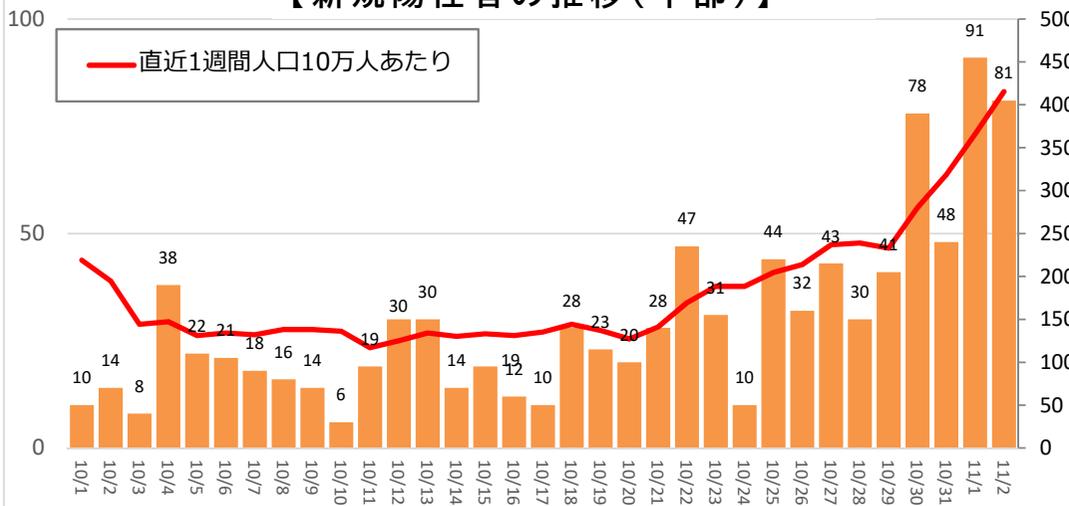
【新規陽性者の推移(東部)】

10万人あたり(人)



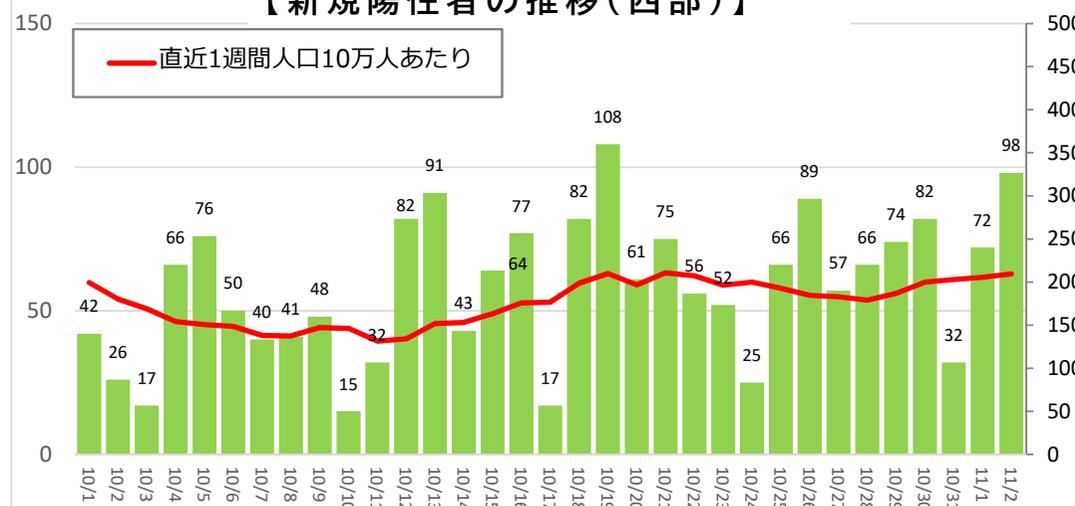
【新規陽性者の推移(中部)】

10万人あたり(人)



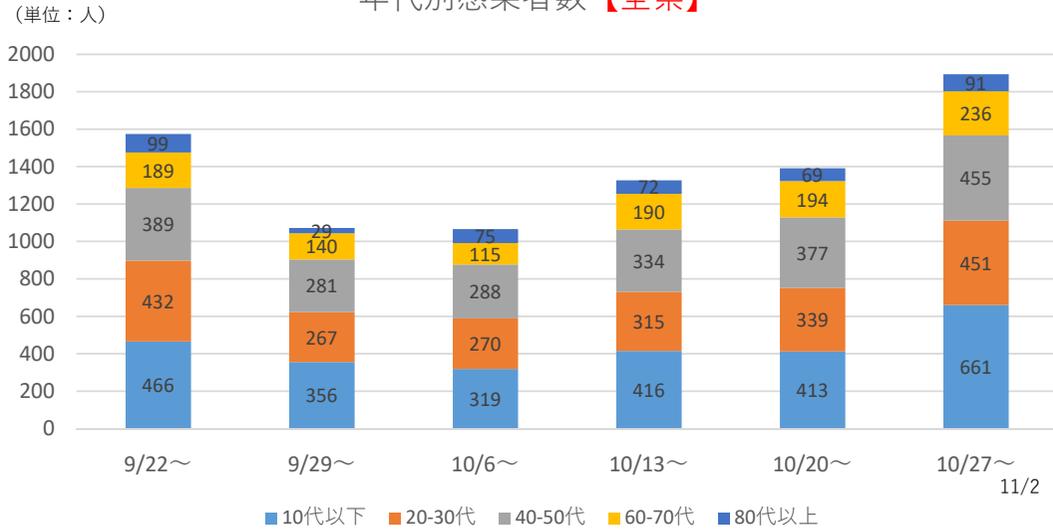
【新規陽性者の推移(西部)】

10万人あたり(人)

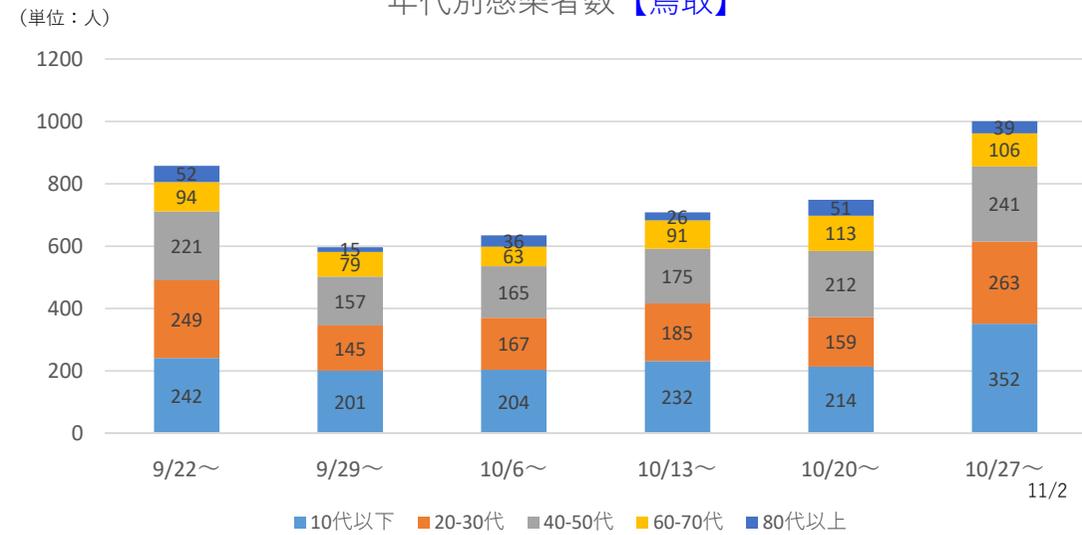


鳥取県の年代別感染者数(7日間毎)

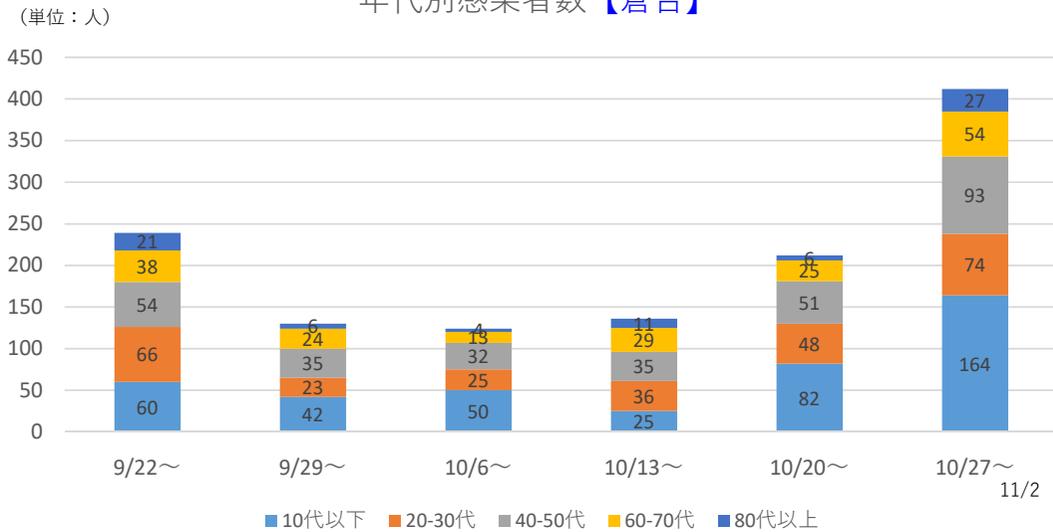
年代別感染者数【全県】



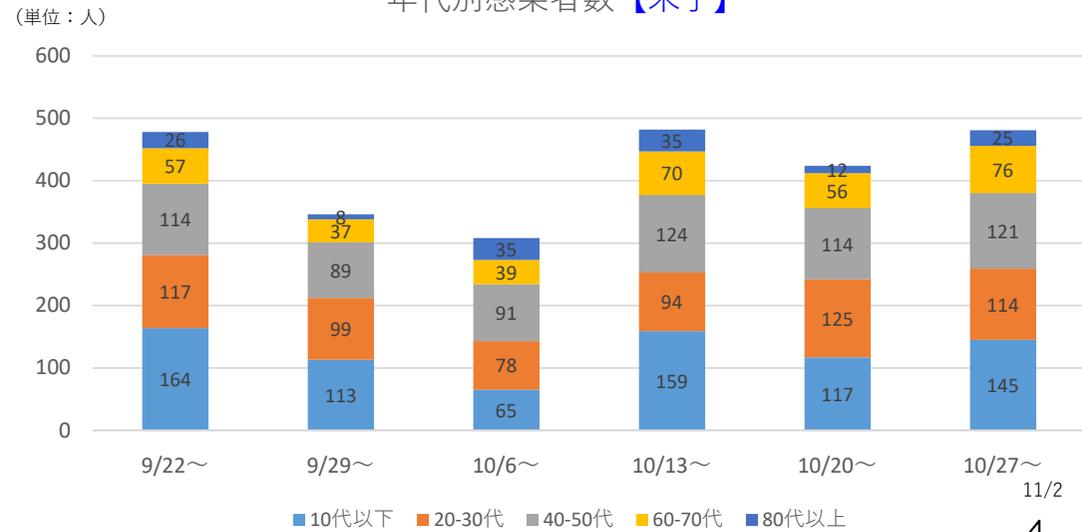
年代別感染者数【鳥取】



年代別感染者数【倉吉】



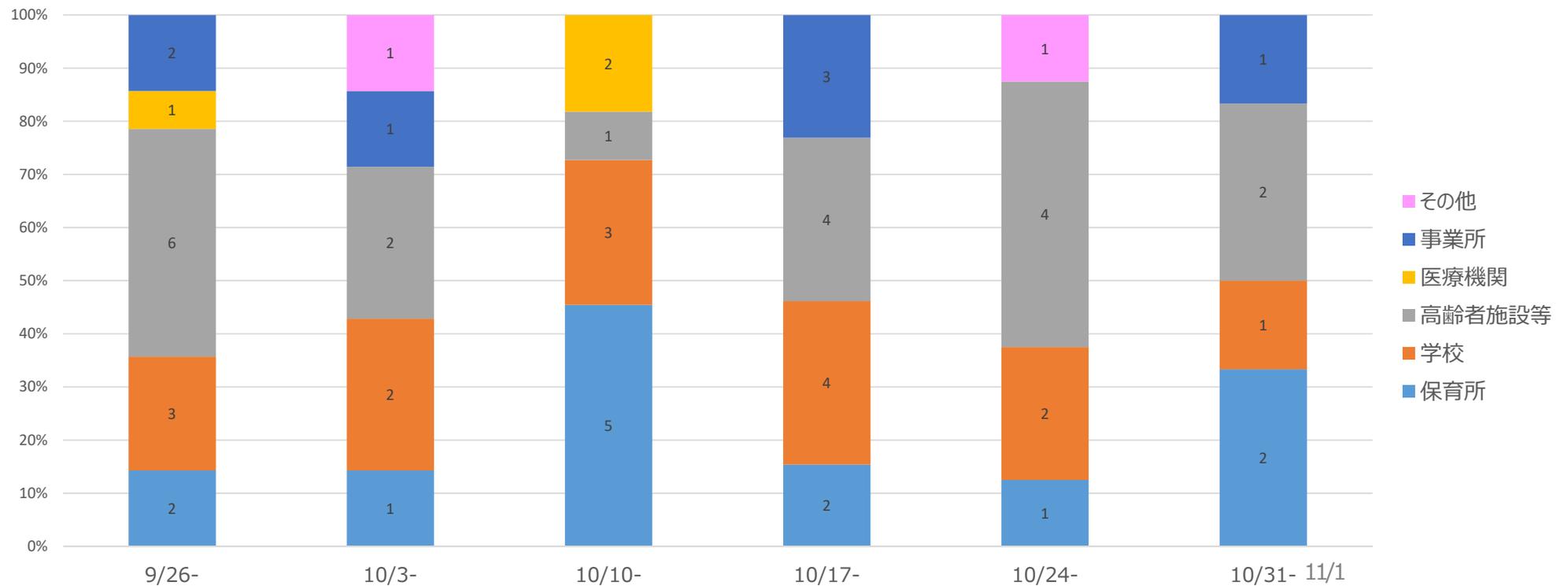
年代別感染者数【米子】



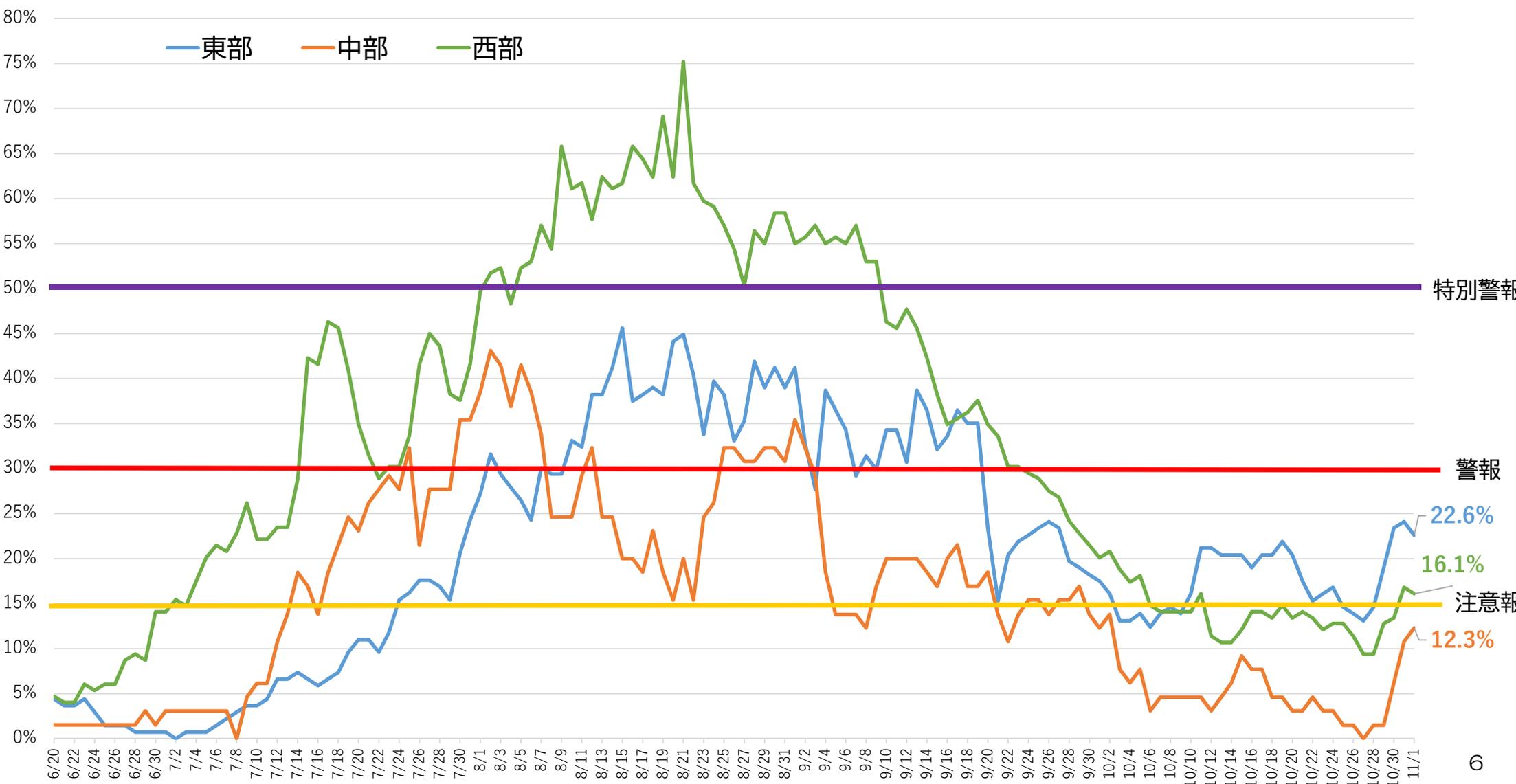
10月以降のクラスター発生状況

- 高齢者施設でのクラスターが多発 医療機関で集団感染も複数みられる
- 学校・保育所等でのクラスターや集団感染も引き続き発生
- 事業所での集団感染も複数確認

→場面や施設に応じた基本的な感染防止対策の再確認・徹底をお願いします。



病床使用率の推移



感染急拡大！対策の徹底をお願いします

- 鳥取県全域で感染急拡大がはっきりしてきました
- 場面に応じたマスクの着用、人と人との距離の確保、エアロゾルを意識した換気など、基本的感染対策のご協力をお願いします
- クラスターも多発しています 学校・施設等の対策の徹底をお願いします
体調が悪ければ無理に登校・出勤せず、医療機関を受診しましょう
- 県外往来の際など感染リスクの高い場所を回避し、感染対策を徹底しましょう
- 飲食では、マスク会食などしっかり感染対策して楽しみましょう
- 大声や大騒ぎなどは控え、寒くても換気をこまめに行いましょう
- 乳幼児を含めた早めのワクチン接種をして、感染拡大を抑え、インフルエンザ同時流行に備えましょう

早めのワクチン接種を！

本県では、感染急拡大しています。
感染予防としてワクチン接種は有効ですので、早めの接種をお願いします。



11月中旬までの県営接種会場

- <東部> トリニティモール 11/3(木),4(金),5(土),10(木),
11(金),12(土)
- 保健事業団本部 11/4(金), 7(月),14(月),18(金)
- <中部> 倉吉シティホテル 11/4(金),5(土),11(金),18(金)
- <西部> イオンモール日吉津 11/3(木),4(金),5(土),6(日※),
10(木),11(金),12(土),13(日※)
- 米子しんまち天満屋 11/12(土) ※日曜は小児接種(5~11歳)

オミクロン株対応ワクチンの接種状況(10/31現在)

全国	
接種回数	6,420,471
人口当たり接種率	5.10%
鳥取県	
接種回数	37,163
人口当たり接種率	6.74%

<2価ワクチンの効果>

- ・オミクロン株への効果が期待される
⇒ 重症化予防と、持続期間は短い可能性があるが感染予防効果や発症予防効果も期待される
- ・様々な新型コロナウイルスに反応する
⇒ 今後の変異株にも有効である可能性がより高いことが期待される

<乳幼児接種をお願いします>

11月1日から、県内での接種が始まっています。かかりつけの小児科医と相談の上、接種をお願いします。

第2報 (新型コロナワクチン接種) 2022年10月7日

オミクロン株に対応した
2価ワクチンの接種が開始されました。

【第2報】

ワクチンの種類が増えました。
BA.1かBA.4-5の
いずれか早く打てるワクチンで
1回接種をしましょう。

接種の対象と使用するワクチン

■ 新型コロナの従来株とオミクロン株に対応したワクチン(「オミクロン株対応2価ワクチン」)の接種は、**初回接種(1~2回目接種)を完了した12歳以上の全ての方が対象で、一人1回接種できます。**

■ 1~2回目接種を完了した12歳以上で最終接種から5か月(※)以上経過している方は接種可能です。

(※)2022年10月7日時点、接種期間の短縮等について検討し、10月下旬までに結果を伝える予定です。

「鳥取県版 新型コロナ警報」 (11月1日現在)

東部地区に「注意報」を発令しています。

BA.5の極めて感染しやすい特性から、県民の皆様には、高い緊張感をもって感染対策の徹底をお願いします。

地域	発令区分	備考
東部地区	注意報	10/13～
中部地区	—	9/24 注意報解除
西部地区	—	10/9 注意報解除

<目安:最大確保病床使用率> 注意報(15%超)、警報(30%超)、特別警報(50%超) (3日連続した日の翌日から)

<最大確保病床使用率(11/1)> 東部(22.6 %)、中部(12.3 %)、西部(16.1 %)

⇒西部地区は15%を2日連続超過しており、「注意報」に近づいています。

県内全域に「感染拡大警戒情報」を発出中

新規陽性者数が高い水準で推移し、更に増加傾向であることから、県内全域に「**感染拡大警戒情報**」を発出しています。

特に、学校行事や部活動、スポーツ大会のほか、高齢者施設、医療機関、保育施設でも感染が続いています。換気やマスクの着用、密を避けるなど、引き続き、感染対策の徹底をお願いします。

地域	区分	備考	①10万人あたり 新規陽性者数 【7日間累計】 注意:100人/週 警戒:200人/週	②新規陽性者数 の前週比 【3日間累計】 注意:増加 警戒:1.5倍
東部地区	感染拡大警戒情報	9/15～	444.7人/週	1.25倍
中部地区	感染拡大警戒情報	10/24～	412.3人/週	2.56倍
西部地区	感染拡大警戒情報	10/19～	208.5人/週	1.12倍

「レベル分類」の本県独自の判断指標状況

コロナ医療が必要な人へ提供でき、一般医療の制限には至っていない状況であることから、本県の状況は、総合的な判断により「レベルⅡ」

※**レベルⅡ**：新規陽性者数が増加傾向。一般医療と新型コロナ医療の負荷が生じはじめているが、病床数増加でコロナ医療が必要な人へ適切な医療ができています

Ⅲ：一般医療を相当程度制限しないと、コロナ医療が必要な人への適切な医療ができない

判断指標	数値 (11月1日現在)	本県独自目安 (状況を踏まえ総合的に判断)		
		Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
新規陽性者数(対人口10万人/週)	340.9人 (1,894人/55.3万人×10万人)	50人/週	150人/週	250人/週
最大確保病床使用率	17.9% (63/351床)	15%	50%	80%
重症病床使用率 (重症者以外が使用している場合も計上)	0.0% (0/47床)	—	50%	

参考指標	数値(11月1日現在)
PCR陽性率(直近1週間)	15.6% (1,894人/12,137件)
感染経路不明割合(直近1週間)	確認中